

FZシリーズ

■ 光学性能と薄さを両立 トライフィールド[®]両面非球面設計

アンテリオール F Z	(1.74)	2016年1月20日発売
レシエンテ F Z	(1.67)	2015年4月22日発売
アボナール F Z	(1.60)	2016年1月20日発売



特長

★トライフィールド[®]両面非球面設計

- ・3つのエリア設定
- ・各エリアに異なる機能
- ・光学性能と薄さを両立

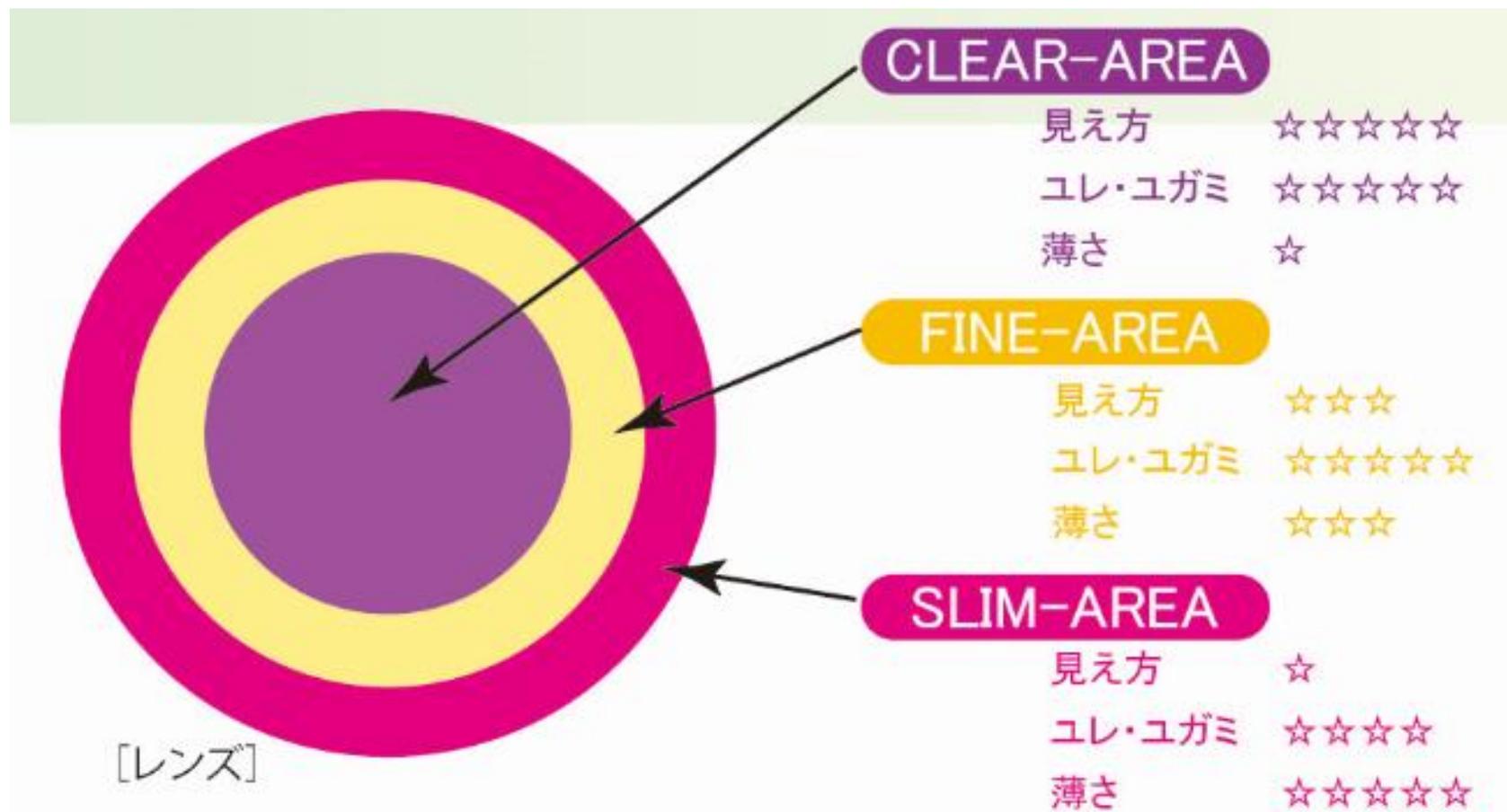
★度数別最適設計

- ・度数カーブ別非球面設計
- ・度数別最適エリアサイズ

お勧めの方

- クリアな見え方と薄さの両方を求める方
- 特に強度数・乱視の方
- 仕上がりを薄くしたい方

トライフィールド両面非球面設計

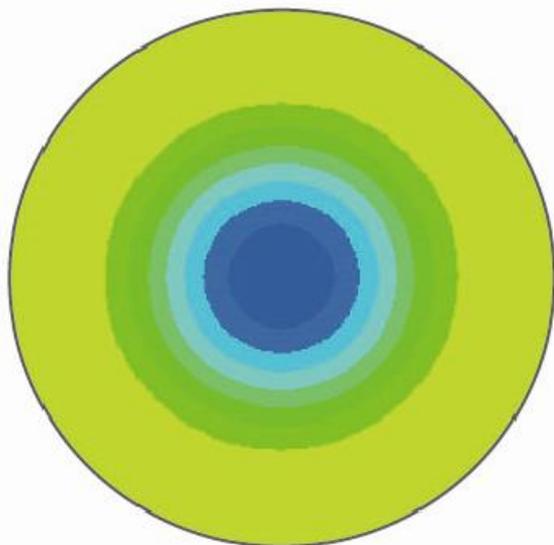


- 1つのレンズの中に3つのエリアを設定
- エリアに異なる機能を設けた高機能レンズ
- 光学性能と薄さを両立した設計

見やすい範囲(明視領域)の比較

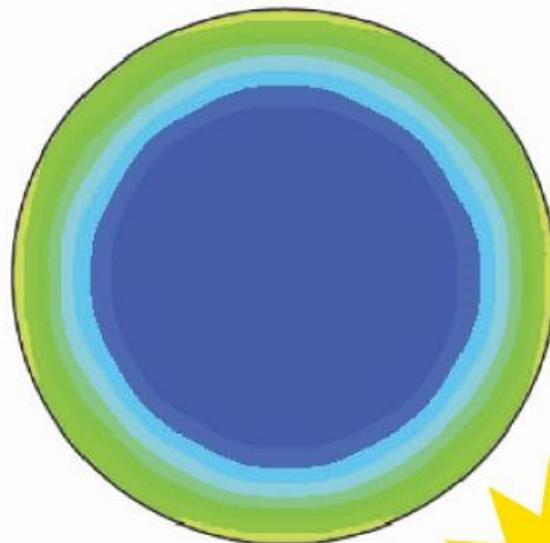
(S-7.00 中心55φの拡大図)

従来非球面レンズ (1.67AS)



見やすい範囲21%

1.67 



見やすい範囲 **62%**

度数による明視領域



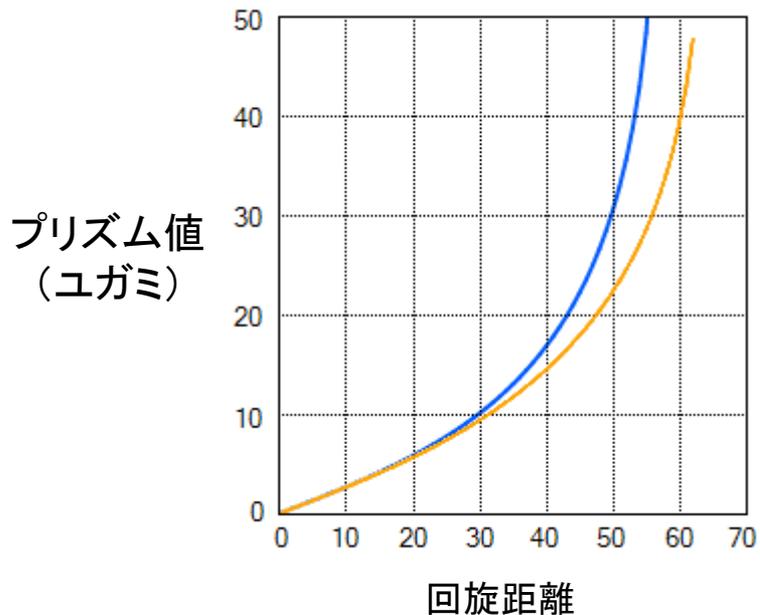
41% 拡大!!

(S-7.00 中心55φにおいて当社比較)

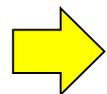
プリズム(歪曲収差)

FZ/SPの比較 (S-6.00比較)

黄:FZ 青:SP



■ FZはSPよりもプリズム値が減少

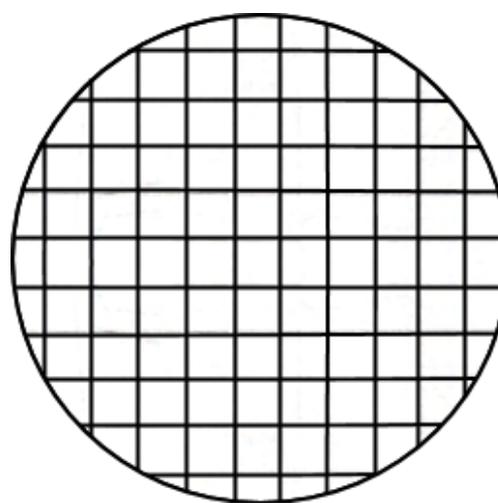


ユガミが軽減

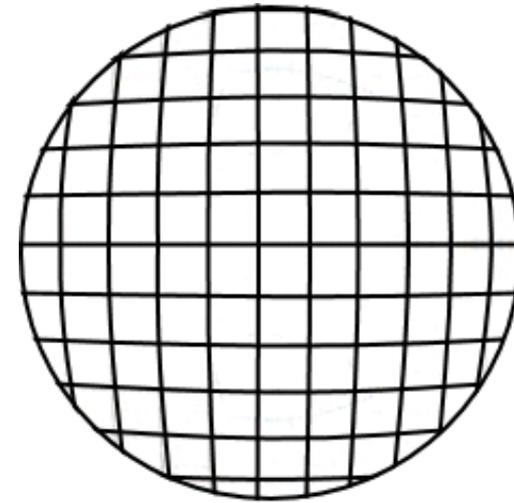
方眼紙の見え方

S: -10.00

の場合のイメージ図



FZ

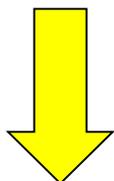


SP

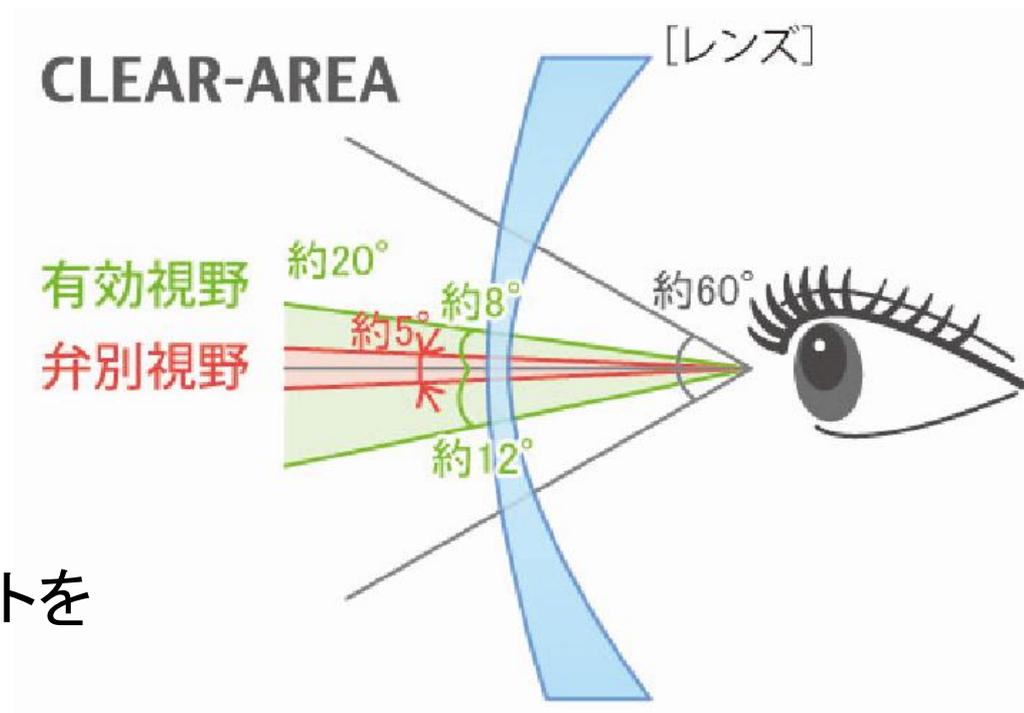
(※当社比)

トライフィールド両面非球面設計の効果-1

- CLEAR-AREAの範囲内に
弁別視野と有効視野が入る



- 正面視・側方視において
ボケを感じにくく、瞬時にピントを
合わせられる効果がある

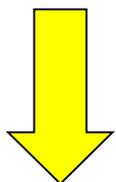


[a] 弁別視野 (約 5° 以内)
高精度な情報受容が可能

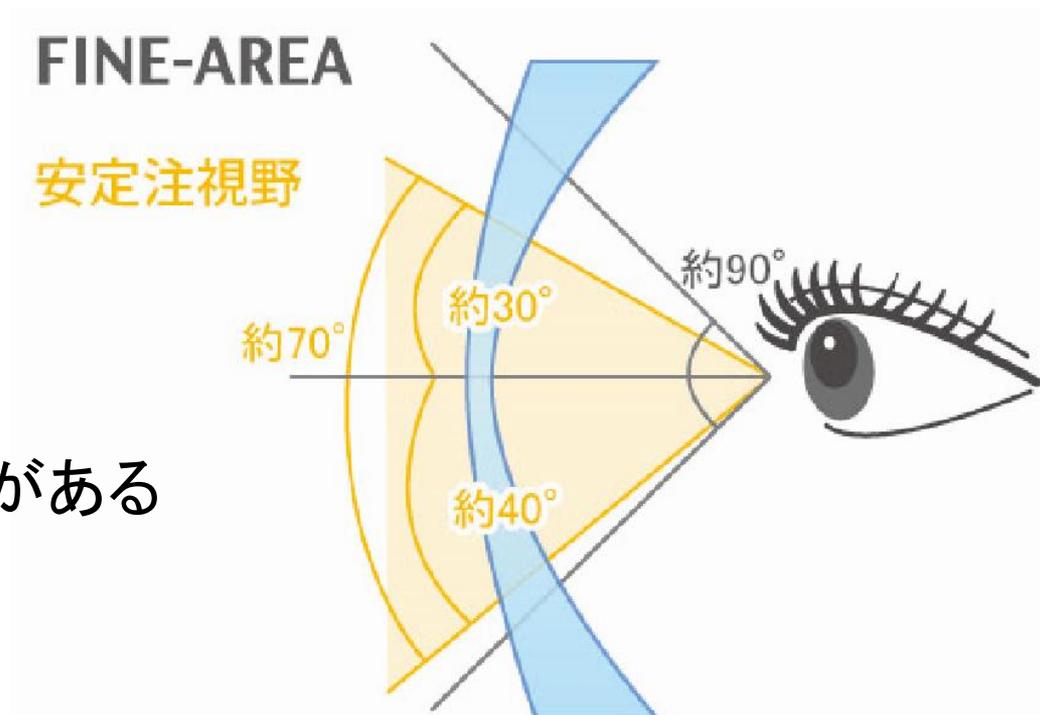
[b] 有効視野 (水平約 30° 、垂直約 20° 以内)
眼球運動だけで瞬時に情報受容が可能

トライフィールド両面非球面設計の効果-2

- FINE-AREAの範囲内に安定注視野が入る



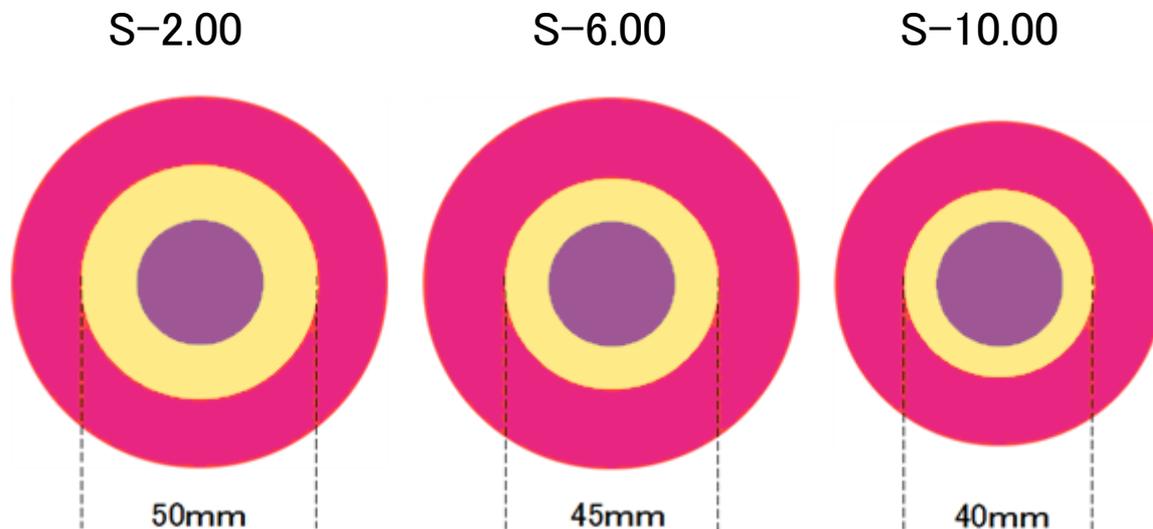
- ユレ・ユガミを抑える効果がある



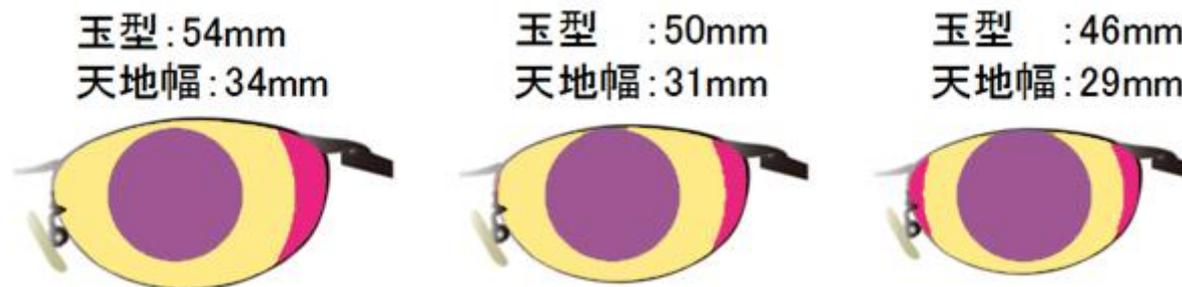
[c]安定注視野(水平90°、垂直70°以内)
安定した眼球・頭部運動により弁別視野内で
無理なく注視できる範囲

度数別最適設計

丸玉イメージ



枠入れ後イメージ



■ 度数・カーブ別に非球面を設計

→ どの度数でもトライフィールド両面非球面設計の効果を発揮

■ 度数によってエリアの大きさを変化

→ 大きな玉型でもSLIM-AREAの薄さを実感

→ 小さな玉型でもCLEAR-AREAの見やすさを実感

FZシリーズ 製品仕様

■屈折率 : 1.60、1.67、1.74
※屈折毎に発売開始時期が異なります。

■特注仕様

- ・プリズム : 可 3.00△まで
- ・外径指定 : 可 55mmまで
- ・厚み指定 : 可 補厚のみ
- ・スレンダー : 可 65/55mmまで
- ・偏芯 : 不可

製品名	アボナールFZ 1.60	レシエンテFZ 1.67	アンテリオールFZ 1.74
度数範囲 (S)	+8.00~-10.00	+8.00~-13.00	+12.00~-20.00
乱視範囲 (C)	0.00~±4.00	0.00~±5.00	0.00~±6.00
外径	65~80mm	65~80mm	60~75mm

